

# 九州農政局長賞を受賞

## 武雄市橘町まちづくり推進協

### さがびより生産・ブランド化 小学校と協力「田んぼの学校」



九州農政局長賞を受賞し、取り組みについて樋渡啓祐市長に報告した橘町まちづくり推進協議会の野田和宏会長＝武雄市役所

武雄市 豊かなむらづくり  
全国表彰(農水省、財団法人日本農林漁業振興会共催)で、武雄市の橘町まちづくり推進協議会(野田和宏会長)が九州農政局長賞を受賞した。橘産「さがびより」の生産・ブランド化を進め、橘小と協力した「田んぼの学校」の開催など、農と自然を通じた人と地域の絆づくりが高く評価された。

### 絆づくり高く評価

「田んぼの学校」で、田植えをする橘小5年生ら－今年6月、武雄市橘町



同協議会は、子どもたちと地域の連帯感が希薄になり、農家の高齢化、農業離れが問題

になってきたことを背景に1992年、全町民(約2700人)を構成員として発足した。同町は米どころで、県内でもいち早く「さがびより」の試験栽培を行い、橘産米の生産・ブランド化に取り組ん

できた。2012年産から東京の有名米穀店で橘産「さがびより」が取り扱われている。また地域と学校が協力し、橘小5年生が2001年から農業体験学習「田んぼの学校」を開催。種まきから稲刈りまでを体験し、収穫したコメは東日本大震災で被災した宮城県の小学校に送っている。このほか、地元の歴史を記述した冊子を作成するなどの「歴史伝承事業」や、河川の浄化やごみの減少に取り組む「生活環境保全事業」も展開している。野田会長は「橘町は小さな町だが、全町民参加型でまちづくりをやってきた。認められてうれしい。激励をいただいたので、もっと上の農林水産大臣賞や天皇賞を目指して頑張

りたい」と話した。野田会長は13日、受賞の報告に市役所を表彰訪問。樋渡啓祐市長は「橘町はもとも市のトップリーダー。ぜひこれからも市の農業を引っ張ってほしい」と激励した。同表彰は農林水産業の振興、生活環境の改善、地域文化の継承など地域ぐるみで取り組んでいる、むらづくりの優良事例地区を表彰するもので、1979年から実施されている。(横尾章)